

鶴崎 治成 〔代表〕

夢づくりクラブ

～ 総社の町に蛍の灯を ～



6年前(2005年3月)、35年間のサラリーマン生活を終了し、第2の人生を歩むためにサラリーマン時代に損ねていた健康の回復を兼ね、自然環境や歴史文化にかねてから興味をもっていたので、総社を中心に岡山市の山々や野の埋もれている遺跡、神社等を探し自然環境を見つめていました。

そのうちに、わずか戦後60年の間で余りにも多くの自然環境が近代化を理由に、決して壊してはならない自然までも人間の利便性、快適性の功利を満たすために被壊続けてきた負の現象が起きていることを知りました。それは、昭和20年生まれの私にとって壊され続けていることを知らずに60年を生きてきたことになんと無知で無関心であったか、自分が恥ずかしく思え、これからの人生は失われた60年の自然環境を取り戻し、そして次世代の若者に美しい自然を残したい、また弱者と呼ばれる障がいを持つ人達に対して、何もしてこなかった自分ができることを考え、初めの一反の田と畑を借りて障がい者の自立を支援する田んぼの学校を開設しました。

その頃、昔は私が住んでいる総社市泉地区の北側を流れる青谷川には20年程前にはホタルが多く飛んでいたことを思い出し、現在はいない川にホタルを

取り戻す為にはどうしたら良いかを考え友達に相談したところ、おかやま環境ネットワークというNGOがあり、岡山県のホタルの再生に関する取り組みを行なっているとの情報を得て、入会しました。

その後、5年目となった私たちの環境保全活動は総社市を流れている川をホタルが再生する川に変えることが大きな目標です。

皆さんもご存知の通り、川の水がきれいにならなければホタルは棲むことができません。今までホタルが飛んでいなかった川が一部分でも飛ぶ川になることは一本の川全部に可能性ができることです。そして一本の川の水がすべてきれいになることが夢でなくなります。

夢づくりクラブは、総社市北公園のホタルの里を守り、市内を流れる川を地域の皆様、子どもたちと一緒にホタルが飛ぶ川に、『総社の町にホタルの灯を』目標にがんばっています。

◆夢づくりクラブ自然環境保護の年間活動計画は下記の通りです。

※2005年までは一匹も飛んでいなかった総社市北公園でホタルが飛ぶようになりました。

10月：総社市内小学校を対象にホタル幼虫放流式

10月～2月：ホタル幼虫の育成

3月：ホタル幼虫上陸地の養生

4月：ホタル幼虫の上陸撮影

6月：ホタル飛翔撮影、ホタル塗り絵展

9月：ホタル基金の募金活動

以上の活動の他に総社市一ツカ郷用水、前川の環境問題にも取り組んでいます。

どうか皆様におかれましても、現在の行政のあり方に是非声をあげてください。身近な環境は必ず変えられることを信じて、そして子どもたちのためにがんばりましょう。

